

CBC NEWS

Vol. 5
6月号

「中央聖書神学校の 生きた証の力」

日本チャーチオブゴッド教団
グレイスリバーチャーチ 牧師

小石 臨



私の父と母も学んだこの中央聖書神学校で学べた事は、大きな祝福でした。ここでの全ての学び、全ての交わりが、今も大きな財産となっています。中でも在籍当時、弓山喜代馬先生に個人的にお時間を頂き、ご教授頂いた事は、未だに忘れられません。

先生が召される約半年強程前、私は、日本のペンテコステ教団でここまですべての全国に広がった日本A.G.教団の創成期に、何に力を入れ成長されたか、非常に興味があり、色々お聞きしました。その最後に先生はこう仰りました。「私達はね、特別な事は何もしてないですよ。ただ一所懸命聖書を学び、一所懸命よく祈り、そして一所懸命伝道した、それだけです。」

私は成程と思われました。やはり

その3つなのだと。イエス様が弟子達と働きを始めてから、現在に至るまで、主の働きにおいて中心となる要素は何も変わらず、それは、キリストの教え、心、わざを全て受継ぎ、それらを全力で「一所懸命」やり続ける事なのだと。そして、当時からその大きな役割を担ってきたのが、この中央聖書神学校なのだ。

中央聖書神学校が素晴らしいのは、そのすべての分野で、「一所懸命」訓練する事を目指している所だと思います。単なる学問の機関としてではなく、人に命を与える生きた主の御言葉が実行される為の訓練があり、実際にその実の結果が全国に広がっている事は素晴らしい生きた証です。

弓山先生はじめ、熱意ある訓練を続けられてきた貴教団のその素晴らしいスピリットとDNAは、他の全国の教会や教団にも大きな祝福を与える力があると信じます。どうか、中央聖書神学校がさらに日本国内外全ての主の働き人育成の為に大きく用いられますよう、心から期待し、祈っています。



中央聖書神学校 Student page



広報部



一連覇 ならず

毎年恒例となっている神学校親善ソフトボール大会がさいたま市にある秋ヶ瀬公園で開催された。昨年悲願の優勝を勝ち取ったCBCは、力及ばず第3位であった。しかし、戦い終わったメンバーの顔には清々しさがあった。学生たちは口を揃えて言う。「私たちの絆はどの学校にも負けてはいなかった。このメンバーで3年間共に戦ってこれたことに対する感謝しかない。」涙ではなく笑顔でお互いの健闘を称え合った。昨年同様、胴上げによって北野校長が晴天の空に舞った。いつまでも記憶に残る一日だったと北野校長。大会は無事に閉会した。



CBC ニュース 6月号を楽しんでいただけたでしょうか。今年も広報部3人で力合わせて、読みやすく充実した内容を心がけて作成させていただきました。神学校を広く知っていただきたく、試行錯誤しながらさらに良いものを読者の皆様にお届けできるように努めております。さて、Facebookの中央聖書神学校 Student page はご覧になりましたか？FacebookではCBC ニュースには載せきれない情報を随時載せております。是非、CBCのホームページと合わせてご覧くださいますように。

広報部 中山 満

献金による支えを心より感謝申し上げます

ダビデの石奨学金献金：【団体】中央福音教会、尾崎基督教会、姫路キリスト教会、高知聖書教会、中村福音キリスト教会、佐伯聖書キリスト教会、本渡基督教会【個人】野出テルヨ
一般献金：【団体】中央聖書教会、熊本聖書教会、神召キリスト教会、東京陽光教会、嘉手納アッセンブリー教会、天塚キリスト教会、下関シオン教会、函館ベテルキリスト伝道所、明石キリスト教会、門真キリスト教会、姫路キリスト教会、三木アガペー教会【個人】大野まち子、北野耕一、日吉茂人、土屋潔、三宅規之、酒井朗子、吉武惟一
(2017年10月～2018年3月)

<訂正・おわび>

2017年CBC NEWS10月号p.5

「通信科の声」の記事：

誤り：岡山グレース

リバーサイドチャーチ

正：リバーサイド

チャーチ岡山

誤り：西寄 芳衛

正：西寄 芳栄



通信科教会献身者コース



中山 優美

岩見沢神召キリスト教会
献身者の自覚をもち、
祈りつつ、学びと奉仕と生活
を両立していくこと。



名越 信三

日本アライアンス呉教会
「神様から平等に愛されてい
る」と伝える者になるため、
学びを頑張りたい。



井上 すみれ

アッセンブリー
新潟キリスト教会
I テモテ 2:4 を心に留めな
がら、主の力を信じ、一歩一
歩進んでいきます。



村上 望

小岩栄光キリスト教会
一步一步主に委ねて、
学び、砕かれ、
練られてゆきたいです。



宮腰 純基

草加神召キリスト教会
主が教会における働き、
伝道を第一にしつつ、
勉強を疎かにせず
頑張ります。



松嶋 尋美

エヴァグリーンキリスト教会
主がいつも共にいて下さる事
を喜び、感謝し、
祈り、歩んでいきます。



鈴木 明子

港南シオンキリスト教会
自分の力ではなく、
一足一足、主にすがりて
歩んで参ります。



平田 恵未

港南シオンキリスト教会
望外な道が与えられました。感
謝し、祈り、精一杯走り抜こう
と思います。

ご入学
おめでとうございます



通信科伝道者コース



大倉 岳

日本基督教団 喬木教会
全てを主に明け渡し、
主の働きに適う者に
練られていきます！



坂田 容子

氷見キリスト教会
常にイエス様の御声を聞き、
自分をなくし
主に従ってゆきたいです。



勇 亜弥

和泉神愛キリスト教会
学びと訓練の中で主の臨在を
運ぶ器になりたいと願いつつ
まずは進級します！



佐藤 翔太

エヴァグリーンキリスト教会
主が導いてくださった献身の
道を、感謝と喜びを持って
歩みたいと願います。



井上 聖嗣

アッセンブリー
新潟キリスト教会
マタイ 11:28 の御言葉に寄り添え
るように3年間学んでいきます。



中村 孝昭

小岩栄光キリスト教会
主にあって召しに
応えられるように学びます。
どうぞお祈りください。



新沢 愛

アッセンブリー
新潟キリスト教会
これまでの全ての道を守り導いて
下さった主に感謝を捧げ、
頑張ります。



高間 智浩

アッセンブリーズ・オブ・ゴッド
真岡キリスト教会
日系ブラジル人の教会として
日本の伝道の糧となれるよう
頑張ってください！



増田 知世

シティビジョン・
グローリーチャーチ
神様の召しにふさわしく
自分を様々な面で整えて
いきたいと思っています。



● 昨年の11月23日(木・祝)、CBC Festa2017を開催し、大盛況のうちに終わることができました。ご来場いただきました皆様と講演して下さった先生方、ご協力くださった教会の方々に、心から感謝申し上げます。

**今年のCBC Festa 2018は、
11月23日(金・祝) です!**

お待ちしております



卒業生

本科

うえ もと りょう
上 本 亮 師 福山キリスト教会

なか やま ゆう
中 山 雄 師 本渡基督教会

た なか ひろ こ
田 中 寛 子 師 中央福音教会

かわ かみ てつ じ
川 上 哲 司 兄 川口神召キリスト教会

はやし さん び
林 賛 美 姉 東京メトロチャーチ教会

通信科

よこ やま
横 山 あかり 師 東松島アメイジング・グレイスセンター

たに ぐち のり と
谷 口 昇 人 師 草加神召キリスト教会

研究科

おお さわ し のぶ
大 澤 史 伸 兄 日本ルーテル教団 大麻ルーテル教会

卒業生 挨拶

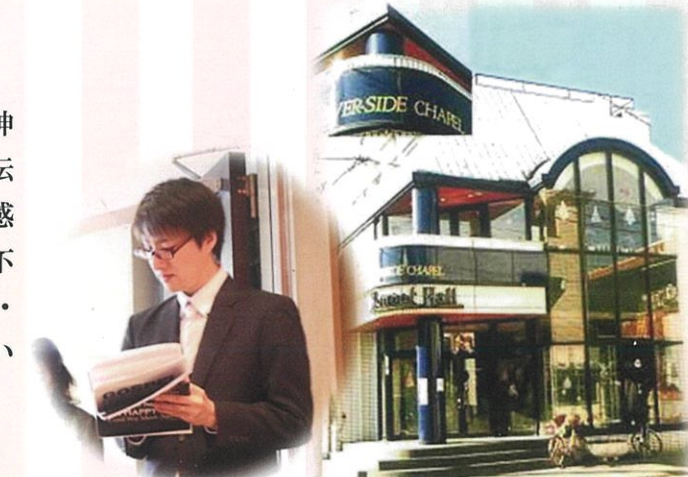
皆さんのお祈りとささげものに支えられ、今年の3月に中央聖書神学校を卒業しまして、現在は熊本県の天草市にある本渡基督教会で伝道師として仕えております。この3年間で自分の弱さと未熟さを痛感した私にとって、全く新しい地での伝道者生活は期待と共に心配や不安も多くあります。しかし、CBCでの学びと訓練は全て今の伝道・牧会のためにあることを覚え、それを活かして、神と人々に仕えていきたいと思ひます。

中山 雄 師

ハレルヤ! 主の御名を賛美します。

1人でも多くの方が救われるようにと願いつつ、草加の地で仕えさせて頂いています。この1カ月の間で、主が受洗希望者を与えて下さっていることを心から感謝をしています。主の素晴らしさを日々仰ぎ見ながら、これからも歩んで行こうと思ひます。お祈り感謝します。

谷口 昇 人 師



ご卒業おめでとうございます
ございます



山上の垂訓教会



アルベル山



ヴィアドロローサ



嘆きの壁

2018.1/11~1/17 イスラエル研修レポート

1月のイスラエル。雨露に濡れ、麗しさが際立つ。
想像していたよりもずっと美しい場所。緑があり、水があり、自然が豊かである。
南端の町ベエル・シャバから北のヘルモン山の麓まで、聖書の町々を旅する。荒野を眺め、ヴィアドロローサを歩きながら、イエス・キリストが遺された傷跡を心に刻む。十字架の現実に戻るとともに、召命の尊さを痛感する。歩むべき十字架の道を覚え、献身の思いを新たにすることができた。献身の旅は続く。

3年 中山 満

キャラバン報告

桜が咲く頃、不安と期待に胸膨らませ、私たち神学生7名は関西に向かいました。私は関東の人間なので、メッセージや証をする際に、どのようにしたら笑いをとれるかばかりを考えていました。しかし、関西教区の皆様は、どこへお邪魔しても心暖かく迎え入れて下さいました。先生方の特性を生かした牧会、地域性を生かした信徒との交わり方、ユースの目線に合わせる眼差しと教育。そして教会に集う皆様の明るさ。まさに地の塩、世の光としてのキリストの証人でした。また行きたい、そう思える教会ばかりでした。お世話になった皆様に心から感謝申し上げます。

2年 矢部 昭仁



「通信科スクーリングの恵み」

通信科伝道者コース 須藤 望
シティビジョン・グローリーチャーチ



私は今回のスクーリングで、聖霊論と説教学演習の2つの講義を受講した。このスクーリング全体を通しての最大の恵みは「交わり」だと感じる。それは、学びの一番の目的はテストで100点をとることではなく、「人をつくること」だと思うからである。学校の学びを通して様々な見解に触れる時も「どの考えを受け入れることが最も神様を愛し、信頼することになるか」という視点を大事にしようと心掛けていた。いずれにしても、模範解答を答えることと、模範となることには大きな隔たりがあるが、勘違いしてしまいがちのように思う。従って、私にとってスクーリングの期間中、本科生・通信科生の方々、また先生方との交わりが良い刺激であると感ずる。

し、寝食をともにし、共に奉仕する中で、お互いを知ることができた。
同じような志をもった人たちが頑張っていることを知るとはとても励みになった。そして、神様の働きがますます日本の中で前進していくためには、働きの人が互いを知り、互いを尊重していく姿勢が重要だと思う。また、今回のスクーリングで受講した聖霊論を通して、聖書全体を正しく理解することの大切さを改めて感じた。聖霊の働き、聖霊の賜物、聖霊のバプテスマなどについて明確な理解がなければ、信仰を適切な実践にうつすことができないからである。
特に「霊」や「聖霊」は目に見えない領域の話であるため、恣意的な理解、聖書的でないイメージが混入してしまいがちのように思う。聖書を丁寧に調べていくことの大切さと、その有用性と必要性を実感できた。講義を通して、聖霊の働きを強調するAG教団に属する者として、どのような歩みと教えが適切かを考えるための土台を覚えてもらった。聖霊様の働きの幅広さと細やかさを知り、聖霊様を以前よりも身近に感じられるようになった。主に感謝しつつ。